

二輪車車両区分見直しに関する有識者検討会（分科会）
議事概要

1 開催日時等

(1) 開催日時

令和5年10月5日（木） 16時00分から18時00分まで

(2) 開催方法

合同庁舎2号館会議室での対面参加又はオンライン参加

(3) 出席者

<有識者委員>（敬称略）

東京都市大学理工学部教授

槇徹雄（座長）

大阪大学大学院人間科学研究科准教授

中井宏

自動車安全運転センター安全運転中央研修所研修部
研修統括

上原厚美【オンライン】

自動車安全運転センター理事、元国際ラリースト

三好礼子【オンライン】

警視庁府中運転免許試験場技能試験官

清水晃

警視庁府中運転免許試験場技能試験官

和地一彦

阪神ライディングスクール教習指導員

國友智子【オンライン】

日本自動車研究所研究員

栗山あずさ【オンライン】

<関係省庁>

警察庁交通局運転免許課長

<オブザーバー>

経済産業省製造産業局自動車課長【代理】

国土交通省物流・自動車局車両基準・国際課長

2 議事進行

(1) 構成員紹介

事務局より開会を宣言し、分科会構成員を紹介。

(2) 事務局説明・討議

配付資料に沿って、新基準原動機付自転車に係る走行評価結果、自工会主催の試乗会について事務局から説明があった後、討議が行われた。有識者委員による主な意見は次のとおり。

ア 走行評価結果について

- 新基準原付の加速について、現行の125ccと比べた際に、適度に抑えられているように感じた。新基準原付に初心者に乗せても安全であろうと思う。
- 全体としては新基準原付と現行原付が同程度に運転できるという結果が出ていると思う。
- バイクは動かしてしまえばあまり変わらないと思うが、低速になっている時や停止の直前、発進の直後に、足つき性が悪い、あるいは車両重量が重いことにより、

支えきれないということがないか、といった点について、一般運転者による試乗会で明らかになればよいと思う。

- シートの高さやシートの幅の広さは、二輪の運転に慣れている人には問題ないが、初めて乗るという人には圧迫感を感じるのかもしれない。乗車した技能試験官からは「シートの大きさや、足つきなどメーカーの開発に期待したい」という意見も出ている。検討会の意見としても、メーカーに対してしっかりと伝えることが必要。

イ 自工会による一般運転者による試乗会について

- アンケートの回答に慣れていない方も試乗会に参加すると思うので、アンケートの内容は可能な限りシンプルにした方がよいのではないかな。
- もし二車種の比較を行う場合は、アンケートの記載のタイミングは二車種乗った直後毎にした方がよいのではないかな。
- ご高齢の方にアンケートを記載してもらう際には、横に説明する人をつけたり、自分で書かせるのではなく回答を聴取方式にしたりする方がよいのではないかな。
- 8の字走行は、現行原付と新基準原付の比較になじまないということであれば、本人にやりたい意向があり、インストラクターからみても乗車可能な方に対してのみ実施して、記載は自由記述としてはどうか。
- 安全のため、参加者には無理に最後までやる必要はないということを説明いただきたい。
- とにかく転倒や事故等がないようにしてもらえればと思う。
- これらの意見について、試乗会を主催する自工会に伝達いただきたい。